

調査報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

訪問調査日 調査実施の時間	平成 21 年 3 月 6 日 開始 10 時 30 分 ~ 終了 15 時 30 分
訪問先事業所名 (都道府県)	グループホーム アミーコ南蔵王 ————— (広島県)
評価調査員の氏名	氏 名 寺岡 信香
	氏 名 羽原 高代
事業所側対応者	職 名 中四国地区本部スーパーバイザー・ケアアドバイザー
	氏 名 則清 剛史 ・ 西谷 佳代子
	ヒアリングを行った職員数 (2)人

項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家 族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

グループホーム [アミーユ南蔵王]

調査報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3471501761
法人名	株式会社 メッセージ
事業所名	グループホーム アミーユ南蔵王
所在地	福山市南蔵王町5丁目20-25 (電話) 084-940-6626
評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと
所在地	福山市三吉町南一丁目11-31-201
訪問調査日	平成 21 年 3 月 6 日

情報提供票より】21年 2月 20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 12 年 8 月 1 日
ユニット数	21 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	16 人 常勤 11 人 非常勤 5 人 常勤換算 13.4 人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り
	3 階建ての 2 階 ~ 3 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除

家賃 (平均月額)	76,300 円	その他の経費 (月額)	12,000 円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または 1 日当た	1,000 円	

4) 利用者の概要 2月 20日現在)

利用者人数	17 名	男性 3 名	女性 14 名
要介護 1	2 名	要介護 2	3 名
要介護 3	5 名	要介護 4	3 名
要介護 5	4 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 87.8 歳	最低 78 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	福山第一病院 蔵王歯科
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴 作成日 平成21年 3月30日

「アミーユ南蔵王」は事業所の理念である「普通の生活を取り戻して頂く」を体感できるケアに努め、ユニット毎で、利用者の状態に合わせた理念を作成し、それに基づいた自分らしさや誇りを保った暮らしが送れるような支援を実践している。また法人全体で定期的に研修を開催し、職員全体の質の向上を特徴としている。住環境は利便性の良い商業地に立地し、事業所内も雛人形や季節の花等を飾っており、穏やかで安らぎのある雰囲気となっている。利用者が一番の楽しみである食事への配慮も「ソフト食」等個人の状態に合わせた対応がされ食べやすいものとなっている。町内会や近隣との交流や関係作りも強化され、地域密着型事業所として地域に根付いたものとなるよう継続的に取り組まれている。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回の外部評価の改善点については、各項目とも真摯に受け止められ取り組まれている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	自己評価は全職員の意見を集約されて作成されており、意義や目的について職員全員で共有している。更に評価結果からでた課題については、職員みんなて話し合い、サービスの質の向上に繋げている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5)
	2か月に1度、管理者・包括支援センター・町内会長・民生委員・入居者代表・家族代表の参加で意見交換が行われている。特に家族の参加が多く、意見もよくでている。会議では行事や活動内容の報告をし、各メンバーから出された意見については真摯に受け止め、日々の支援に反映させている。今後行政担当者の会議の参加も予定している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	家族会は年2回開催している。職員からの返事を記入する欄を設けた要望カードを設置し、いつでも家族からの要望が事業所に伝えられるような仕組みを作り、来訪時にも家族から意見や要望が言い易い雰囲気にも努め、信頼関係を築いている。その中で出された内容については、職員で検討し運営に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	町内会には加入し、溝掃除や月1度の挨拶運動、回覧板のやり取りを通して地域活動へ参加している。又地域住民との交流を深める為、事業所主催の行事への招待や、秋祭への職員や入居者の参加や、駐車場を提供したりして地域との連携に努めている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域社会への貢献を謳っている法人の理念に基づき、各ユニットごと独自に利用者の実状に即した具体的なイメージを持って職員と共に理念を作り上げている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全職員は理念の共有に向け、カンファレンス等でユニットごとに構築された理念や月目標を基に再確認する機会とし実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、回覧板・清掃活動・挨拶運動等地域活動に参加している。事業所主催の行事に地域の方を招待したり、秋祭りには駐車場を提供して地元との交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が評価の意義について理解し、ケアに反映させている。自己評価の作成については管理者が職員それぞれに対して日々のケアについて再確認するために配布し、記入されたものを基に作成された。前回の外部評価を基に改善に向け評価の活用をしている。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月毎に開催し、行事やサービスの取り組み状況等を報告している。会議では特に家族から多くの意見が出され、ここで出された意見については日々のケアに反映させている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センターとの連携はとれ、アドバイス等受けているが市担当者と相談等の行き来する機会は特にはない。		運営推進会議で顔なじみの関係を築きながらサービスの質の向上に向けて事業所の実情を理解してもらいながら、情報交換やアドバイスが受けられる関係へと繋がられるよう期待したい。
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月近況報告・金銭領収書は手紙と共に送付されている。個別に電話でも報告している。職員の異動については、手紙を送付し報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会は年2回開催している。意見箱や要望記入カードを設置し、意見や要望について家族が言いやすくするための工夫をされ、対処された内容が確認できる仕組みとなっている。それらで出された意見を職員で共有し、運営に反映されている		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動・離職は最小限に抑えているが、止むを得ず生じた場合は利用者に個々に応じた対応をしている。又引き継ぎ期間を設け、不安を感じさせないよう取り組んでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者はスタッフ・リーダー・パートと各部門において、内部研修の場を月1回設けている。さらに段階に応じた研修も企画されている。外部研修については職員のレベルに応じて参加を推奨し、研修内容については全職員にカンファレンスで周知しサービスの向上に繋げるよう取り組まれている		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人内や、他の事業所との意見交換を通して交流の場がある。そこで得たものを基に事業所のサービス内容を再認識することで、質を高めるよう取り組まれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>複数回の見学や体験入所の機会を設け、納得したうえでのサービス開始としている。又、利用開始後も家族に何度も来所して貰い、利用者が安心して生活が送れるよう取り組んでいる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者と同じ目線でともに暮らしているという関係作りに努めている。喜怒哀楽を共有した支援をモットーとしている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>個々の生活歴から希望・意向を把握し、本人の意向に沿うようにしている。又、日々の態度や表情から思いを把握し利用者主体のケアに努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族の希望・意見を基に主治医の意見を取り入れて週1回カンファレンスを開催し、毎月介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月1回定期的に見直しをしているが、状態に変化が起きた時は適宜関係者と話し合い現状に即した新しいプランを作成し、家族から同意を得ている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	主治医への受診や希望の理・美容院への利用等、家族が対応出来ない時は職員が柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回医師2名による訪問診療を受けている。医療機関の選定については本人・家族の希望によるものであり、適切な支援をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	実際に看取った経験もあり、利用開始時指針に基づき家族とターミナルについての話し合いは持つようになっている。職員間も医療的研修や重度化した際の指針等を通して方針の共有に努めている。医師・看護師・訪問看護とも連携が図られている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の羞恥心に対する配慮や、尊厳を傷つけない言動の徹底が図られている。個人情報に関しては個人情報保護法に基づいて取り扱いに注意を払っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	概ね一日の流れはあるが、利用者一人ひとりに対して臨機応変に対応している。意思表示が難しい方については、生活歴を基に表情や態度で察知し、その人らしい暮らしとなるよう努めた声かけを行い希望に沿った支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理は外部に委託をしているが、利用者の状態に合った食事を提供している。又準備や片付けはできる方には声かけで協力をして貰い、職員も利用者と同じ物を食べ、楽しく和やかに食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週3回希望の時間に入浴できるよう配慮している。拒否をされる方については、無理強いつけず声掛けをして徐々に誘導し入浴を促すとともに、清潔保持に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を基に日々の生活の中で、体操や書道・読書等また、ユニットごとの行事で、一人ひとり得意分野での役割を持てるよう配慮している。さらに誕生日の人には特別に本人の希望に沿った楽しみごとの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望や気分転換のため、散歩や買い物の支援をしている。ユニットごとの外出や家族参加の小旅行も企画が定期的であり、外出の機会は多い。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	安全面に十分配慮しながら、2階は8時から20時までは開錠している。3階は職員が2人の時に限り建物の構造上、安全面を重視し止むをえず日中も施錠している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回併設施設全体で非難訓練の実施はされている。利用者とともに実際を想定し階段から毛布を使用して救出する等、実践的な訓練が行われている。また訓練についての指導は全職員で周知している。		防災対策については、事業所から積極的に地域に対して協力や理解を求められるよう日頃から話し合いを行い、具体的に取組まれることに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全職員は利用者の情報を記録に残し共有している。水分摂取量は最低1000ccとし、個々人に応じた食事形態・栄養バランス・摂取量・水分量を提供するよう取り組んでいる。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	どちらのユニットにも不快な音や光もなく、玄関には雛人形が飾られていて、季節感を感じることができる。広く明るいリビングには春の花が生けられていて、穏やかで温かい雰囲気心地よく過ごせるよう工夫されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は思い出の品や家具等が置かれていて、入居者にとって落ち着ける場所となっている。安全面から、ベッドや椅子の配置にも配慮した工夫がされている。		

介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム アミーユ南蔵王 (ユニット1・ききょう)

評価年月日 2009年 3月 6日

記入年月日 2009年 2月 21日

記入者 代表/管理者 氏名 堂本文江

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念に基づき、ユニット独自の理念として『お年寄りを敬う気持ちを忘れず、入居者様やご家族様の笑顔が、より多く見られるサービスを提供します』をつくりあげております。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人及びユニットごとの理念を構築し、更に年間目標を設定し、その人らしい生活が送れるように支援していきます。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	施設玄関付近に理念を掲示し、運営推進会議の際にも、理念の説明を行っております。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	立地条件が商業圏である為、気軽に立ち寄って頂けるような積極的な活動は十分に行えていませんが、回覧板のやりとりや、ご近所への挨拶など心がけております。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、清掃活動や秋祭り、学区の朝の挨拶運動などの地域活動に参加し、また、施設主催の秋祭りにご招待するなど、地元の人々との交流に努めております。	継続していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	職場体験などのボランティアの受け入れを実施しております。		継続していきます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の結果を受け、具体的な目標を設定し、改善策を立てていきます。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月に運営推進会議を開催し、行事や事業所の取り組み状況などについて報告し、その中での意見をカンファレンスで検討し、援助に繋げています。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センターと連絡を取り合っています。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業や成年後見制度のパンフレットを施設に設置し、研修会があれば参加していきます。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内及び外部の研修により学ぶ機会を持ち、カンファレンスなどで話し合い、防止に努めています。		継続していきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 . 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書説明時には、疑問点や不安内容について十分に尋ねながら説明するようにしています。入居者様及びご家族の希望に応じて複数日かけることもあります。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見ご要望カードを設置し、いつでも意見をくみ上げるようにしております。また、会社としても「お客様相談室」を設け、重要事項の説明の際にも公的窓口の案内をしています。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、近況報告を兼ねて手紙を送付しています。金銭使用状況については、領収書の送付を行っています。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を年2回開催し、ご家族等の意見を聞くようにしています。訪問時等にも意見や要望を聞くように努め、意見箱やご要望カードの設置をしています。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>週に1回、業務改善に関する話し合いを行っています。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況に応じて、勤務時間の調整をしていますが、人員に限りがあり十分な対応が出来ているとは言い難い状況です。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>複数ユニットがあり離職を防ぐ為にもやむを得ず異動をすることがあります。その際は出来るだけ入居者様へのダメージを少なくするよう、引継ぎ期間を長くもてるよう配慮しています。状況に応じて、勤務時間の調整をしていますが、人員に限りがあり十分な対応が出来ているとは言い難い状況です。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 . 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回、ケアなどについての内部研修を行っており、また外部研修には希望者に参加してもらっています。		継続していきます。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人内の意見交換等を行っています。他の事業者同士の情報交換は少しずつ行っている状態です。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	会社で担当者を決め、職員の相談窓口を設置しています。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	キャリアアップ制度（昇給制度）、社外研修参加制度、資格取得補助制度を設けております。また出産育児休業や配偶者出産休暇など子育て支援制度も行っております。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居面談時から話を聴く機会を積極的に設け、入居後も日常的に話を伺うようにしています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居面談時から話を聴く機会を積極的に設け、入居後も日常的に話を伺うようにしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に何に困っているか、どうされたいのか伺い、今どんな支援を必要としているかを見極め、どんなサービスを利用すれば解決できるかを一緒に考えるようにしています。入居が前提ではありません。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族から相談を受けた時から訪問を行うと共に、見学や体験入居をして頂き、徐々に馴染んで頂けるようにしております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活を共に営むという認識の下援助を行っております。理念にあるように、入居者様の喜びが職員の喜びであるような援助がモットーです。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の状況について、随時、家族へ報告し、状態を把握して頂き、援助についても一緒に考えて頂いております。理念にもあるように、入居者様の喜びが職員の喜びであるような援助がモットーです。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	いつまでも家族の一員であることをお互いに認識して頂けるような援助をしています。出来るだけご家族に来て頂けるような施設作りに努めています。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族にも協力して頂き、今までの生活が継続できるように努力しているが、十分とは言い難い状況です。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員も共同生活者の一人として入居者を支えるようにしています。その中からご入居者同士の関係を把握し、職員が橋渡し役となってお入居者同士が関わりあえるようにしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後は担当ケアマネージャーの方と相談しながら、継続した関わりが必要なケースについてはフォローしています。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1．一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様やご家族から生活暦を聞き、希望や思いを把握すると共に、ご本人の意向に沿うように努めています。また、困難な入居者様には態度や表情などから把握するように努めています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談、面談、契約時などに今までの生活について聴くようにしています。ご本人、ご家族、親戚や近所の方、ケアマネージャーなど、ご本人をよく知っている方々から様々な情報を頂くようにしております。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居相談、面談、契約時などに今までの生活について聴くようにしています。ご本人、ご家族、親戚や近所の方、ケアマネージャーなど、ご本人をよく知っている方々から様々な情報を頂くようにしております。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月、介護計画を作成し、入居者様、ご家族、主治医などの意見を頂きながら、カンファレンスなどで話し合い、計画作成を行っています。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月、見直しを行いますが、体調変化に伴い状況変化があった場合は、必要に応じて適宜新たに計画を作成しております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	規定の介護記録に日々の生活の様子を記入しています。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者様の主治医への受診や、ご希望の理美容院へはご家族対応となっておりますが、ご家族の状況により、職員が行うなど、柔軟な対応が出来るようにしています。		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	その方の今までの生活、現在の状況において必要な場合は、民生委員の協力を仰ぎ、支援していきます。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向、必要性によっては、他のサービス利用を含め、どのようなサービスを利用すれば解決できるかを一緒に考えるようにしています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現時点では実施事例はありません。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及びご家族が医療機関の選定をされています。事業所としては、適切な医療が受けられるように助言などを行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	近隣に指示及び助言の出来る専門医が少ないのが現状です。遠方の専門医院を受診し、相談するようにしていますが、全ての入居者様がそれらの医師の診察を受けてはいません。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	施設看護師を中心に健康管理を行っております。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的にお見舞いに行き状況を把握し、その際には担当医師、看護師、ソーシャルワーカーなどとも話をする機会を設けています。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時から話し合いの機会を持つようにし、また、重度化した際の指針を作成し、研修を行うなどし、職員間の方針の共有に努めています。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医及び協力医療機関と日々事業所としての出来ること、出来ないことについて情報交換を行い、最期までよりよい日常が過ごせるように協力していく体制に整えています。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	転居先の担当者に生活の様子を中心とした引継ぎを行い、移動後も随時問い合わせに対応できるようにしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1．その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者様の尊厳を守るような言動で接するようにしています。個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法に基づいての取り扱いを行っております。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>ご本人が理解し、決定できるようなコミュニケーション手法により説明を行い、自己決定を尊重するようにしています。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者様一人ひとりの生活習慣に応じて援助をスケジュール化してはいますが、その日の様子、希望によって臨機応変に対応するようにしています。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>入居者様の好みに合わせ、着替えや化粧品などの援助を行っております。理美容院についても、ご本人の望まれる店に行けるよう、ご家族にも協力いただいております。訪問美容を利用されている入居者様も多くいます。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>保健衛生上、通常の食事は配食会社への委託を行っておりますが、イベントとして月に数回、食材の調達から調理までを行うようにしております。また、準備・片付けについては、入居者様に協力して頂きながら行っております。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>お酒については特に制限しておりません。たばこについては施設管理上、喫煙場所の限定をさせて頂いておりますが、喫煙自体は制限しておりません。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>入居者様一人ひとりの排泄パターンを把握し、出来るだけ自然な形で排泄が出来るように努めております。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入居者一人ひとりの希望の時間に入浴できるように配慮しています。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>安眠できるように温かい飲み物の提供をしたり、足を温めたりするなどの工夫をしています。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴を基本に、一人ひとりに合った役割を出来るだけ持って頂けるように配慮しております。料理教室やミニ音楽会など定期的開催し、日々の生活の中での役割を大切にしながら、ハレの日の演出も行うようにしております。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の理解を頂き、個人でお金を所持しておられる方もいます。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>時間に限りはありますが、希望に応じて散歩や買い物などにお連れしています。希望を言われない方については定期的にお誘いしています。また、ご家族参加を含む小旅行を企画しております。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>希望を伺い、季節に応じて外出や日帰り旅行を計画しています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の使用に制限はなく、手紙を書かれたり投函などの支援も行っています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間の設定は特になく、24時間可能です。ゆっくりくつろいで頂けるように配慮しています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	県のフォーラムに参加し、また、身体拘束の弊害を研修等にて伝えております。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1階玄関及び2階ユニット玄関は8時から20時までは開錠しております。ユニットが2階にある為、安全の確保も必要ですが、利用者様・ご家族が自由に出入りできるようにしています。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜通して、所在確認を適宜行っています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者一人ひとりの状態に応じ、対応しております。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危機管理についての研修等で知識を得るようにしています。一人ひとりの状態に応じて必要な対策を立て、実践をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時に備え研修を行ってはいますが定期的に継続しては行えていません。地域で開催される救急救命講習会などへの参加をするように心がけています。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	夜間災害発生を想定した避難訓練を年2回行っています。地域への協力の働きかけは、運営推進会議などの際に町内会を通して行っています。		
72	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	夜間災害発生を想定した避難訓練を年2回行っています。その際は建物の構造も考慮に入れ、本番に近い形で実施するようにしております。地域への協力の働きかけは、運営推進会議などの際に町内会を通して行っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	施設看護師を中心とし、日々健康管理、異常の早期発見に努めています。異常がある場合には関係機関と連絡をとり受診などの対応をしています。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	その方が飲んでいる薬の情報について薬情をよく読む、薬剤師から説明を受けるなどして理解に努めています。また薬の変更時などは状態の観察を継続して行っています。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便コントロールについては薬剤だけに頼るのではなく、運動励行・水分摂取・食物繊維の摂取など生活面から個々に合った支援ができることにも取り組んでいます。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	誤嚥性肺炎の予防のためにも一人ひとりの状況に応じて、口腔ケアを行っています。また、必要な方には定期的に歯科衛生士によるケアも行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に応じ食事形態の工夫を行い、摂取できるように取り組んでいます。その方の体調に応じて水分摂取量の記録を残し、一日を通じて確保できるよう支援しています。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に対する研修にて誤解を招かないように注意しています。また、感染症に関する会議を行い、職員同士が意識を統一して、対策を講じるようにしています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材については毎日、配食会社からの搬入になります。調理器具の衛生管理については細菌検査を行ったり、専門家を交えた管理状況のチェックを定期的に行い安全を確保するようにしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工 土 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	プランタンに花を植え玄関周りに置いたり、ご家族より頂いた手芸品を飾ったりなどの雰囲気作りを行っております。また、建物周囲の植え込みにも花を植え、親しみやすい雰囲気を演出できるよう、取り組んでいます。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な音や光については入居者にその都度聞きながら対応しています。季節感を感じれるような装飾を施し、心地よく過ごしていただけるように工夫しています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所 づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテーブルの配置を工夫し、ひとりでゆっくり過ごせるスペースもあります。また、ベランダにあるプランターの花が見えるよう、椅子をおいております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全ての方が使い慣れたものを持参されているわけではありませんが、ご家族とお話し、写真やなじみの物を持ってきていただけるよう取り組んでおります。また、本人がすごしやすいように家具の配置を工夫したり、好みに合わせた家具を使用いただいています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	乾湿計を設置し、最低2回/日はチェックを行い、その都度温度調節を行っております。また研修・評価等で指摘・改善を行っています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な場所には手すりを設置していますが、共有スペースは広い空間となっている箇所が多く安全とはいいがたい面もあります。一人一人の生活動線の把握に努め、身体機能を活かしていただけるよう、考慮しています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの状況に合わせて対応しています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダにてプランター等に花を植え水やりをしていただいています。また、外周りに花の苗を一緒に植えたり、中庭にも花を植え、散歩をしながら見ていただけるようベンチを設置し、休憩場所も確保しております。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「アミーユ」では介護が必要となる以前の“普通の生活”を取り戻していただく生活の場所と考えております。

そして旅行や趣味を通して、以前の楽しかった生活を取り戻していただけるよう援助を行っております。

また、言葉で要望を伝える事が困難な方でも、以前の生活を参考にし、要望を捉えるよう努めております。

運営推進会議などを通して、地域の方に施設を開示したり、またボランティアの方を受け入れ交流を図っております。

日々の暮らしの中で特に取り組んでいることは、嚥下困難な方への食事の提供方法です。介護を必要とし行動範囲も縮小されている方は食事が最大の楽しみの一つであると考え、「ソフト食」に取り組み、定期的に研究会を開催しています。

介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム アミーユ南蔵王 (ユニット2・はまゆう)

評価年月日 2009年 3月 6日

記入年月日 2009年 2月 25日

記入者 代表/管理者 氏名 川崎 一貴

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念に基づき、ユニット独自の理念として『丁寧な言葉を遣いスキンシップを取り、いつでも笑顔で接します』をつくりあげております。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人及びユニットごとの理念を構築し、更に年間目標を設定し、その人らしい生活が送れるように支援していきます。また、カンファレンスにて定期的に確認し、取り組んでおります。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	施設玄関付近に理念を掲示し、運営推進会議の際にも、理念の説明を行っております。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	立地条件が商業圏である為、気軽に立ち寄って頂けるような積極的な活動は十分に行えていませんが、回覧板のやりとりや、ご近所への挨拶など心がけております。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、清掃活動や秋祭り、学区の朝の挨拶運動などの地域活動に参加し、また、施設主催の秋祭りにご招待するなど、地元の人々との交流に努めております。	継続していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	職場体験などのボランティアの受け入れを実施しております。		継続していきます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の結果を受け、具体的な目標を設定し、改善策を立てていきます。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月に運営推進会議を開催し、行事や事業所の取り組み状況などについて報告し、その中での意見をカンファレンスで検討し、援助に繋げています。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センターと連絡を取り合っています。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業や成年後見制度のパンフレットを施設に設置し、研修会があれば参加していきます。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内及び外部の研修により学ぶ機会を持ち、カンファレンスなどで話し合い、防止に努めています。		継続していきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 . 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書説明時には、疑問点や不安内容について十分に尋ねながら説明するようにしています。入居者様及びご家族の希望に応じて複数日かけることもあります。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見ご要望カードを設置し、いつでも意見をくみ上げるようにしております。また、会社としても「お客様相談室」を設け、重要事項の説明の際にも公的窓口の案内をしています。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、近況報告を兼ねて手紙を送付しています。金銭使用状況については、領収書の送付を行っています。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を年2回開催し、ご家族等の意見を聞くようにしています。訪問時等にも意見や要望を聞くように努め、意見箱やご要望カードの設置をしています。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>週に1回、業務改善に関する話し合いを行っています。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況に応じて、勤務時間の調整をしていますが、人員に限りがあり十分な対応が出来ているとは言い難い状況です。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>複数ユニットがあり離職を防ぐ為にもやむを得ず異動をすることがあります。その際は出来るだけ入居者様へのダメージを少なくするよう、引継ぎ期間を長くもてるよう配慮しています。状況に応じて、勤務時間の調整をしていますが、人員に限りがあり十分な対応が出来ているとは言い難い状況です。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 . 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回、ケアなどについての内部研修を行っており、また外部研修には希望者に参加してもらっています。		継続していきます。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人内の意見交換等を行っています。他の事業者同士の情報交換は少しずつ行っている状態です。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	会社で担当者を決め、職員の相談窓口を設置しています。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	キャリアアップ制度（昇給制度）、社外研修参加制度、資格取得補助制度を設けております。また出産育児休業や配偶者出産休暇など子育て支援制度も行っております。		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居面談時から話を聴く機会を積極的に設け、入居後も日常的に話を伺うようにしています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居面談時から話を聴く機会を積極的に設け、入居後も日常的に話を伺うようにしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に何に困っているか、どうされたいのか伺い、今どんな支援を必要としているかを見極め、どんなサービスを利用すれば解決できるかを一緒に考えるようにしています。入居が前提ではありません。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族から相談を受けた時から訪問を行うと共に、見学や体験入居をして頂き、徐々に馴染んで頂けるようにしております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活を共に営むという認識の下援助を行っております。理念にあるように、入居者様の喜びが職員の喜びであるような援助がモットーです。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の状況について、随時、家族へ報告し、状態を把握して頂き、援助についても一緒に考えて頂いております。理念にもあるように、入居者様の喜びが職員の喜びであるような援助がモットーです。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	いつまでも家族の一員であることをお互いに認識して頂けるような援助をしています。出来るだけご家族に来て頂けるような施設作りに努めています。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族にも協力して頂き、今までの生活が継続できるように努力しているが、十分とは言い難い状況です。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員も共同生活者の一人として入居者を支えるようにしています。その中からご入居者同士の関係を把握し、職員が橋渡し役となってお入居者同士が関わりあえるようにしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後は担当ケアマネージャーの方と相談しながら、継続した関わりが必要なケースについてはフォローしています。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1．一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様やご家族から生活暦を聞き、希望や思いを把握すると共に、ご本人の意向に沿うように努めています。また、困難な入居者様には態度や表情などから把握するように努めています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談、面談、契約時などに今までの生活について聴くようにしています。ご本人、ご家族、親戚や近所の方、ケアマネージャーなど、ご本人をよく知っている方々から様々な情報を頂くようにしております。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居相談、面談、契約時などに今までの生活について聴くようにしています。ご本人、ご家族、親戚や近所の方、ケアマネージャーなど、ご本人をよく知っている方々から様々な情報を頂くようにしております。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月、介護計画を作成し、入居者様、ご家族、主治医などの意見を頂きながら、カンファレンスなどで話し合い、計画作成を行っています。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月、見直しを行いますが、体調変化に伴い状況変化があった場合は、必要に応じて適宜新たに計画を作成しております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	規定の介護記録に日々の生活の様子を記入しています。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者様の主治医への受診や、ご希望の理美容院へはご家族対応となっておりますが、ご家族の状況により、職員が行うなど、柔軟な対応が出来るようにしています。		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	その方の今までの生活、現在の状況において必要な場合は、民生委員の協力を仰ぎ、支援していきます。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向、必要性によっては、他のサービス利用を含め、どのようなサービスを利用すれば解決できるかを一緒に考えるようにしています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現時点では実施事例はありません。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及びご家族が医療機関の選定をされています。事業所としては、適切な医療が受けられるように助言などを行っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	近隣に指示及び助言の出来る専門医が少ないのが現状です。遠方の専門医院を受診し、相談するようにしていますが、全ての入居者様がそれらの医師の診察を受けてはいません。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	施設看護師を中心に健康管理を行っております。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的にお見舞いに行き状況を把握し、その際には担当医師、看護師、ソーシャルワーカーなどとも話をする機会を設けています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時から話し合いの機会を持つようにし、また、重度化した際の指針を作成し、研修を行うなどし、職員間の方針の共有に努めています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医及び協力医療機関と日々事業所としての出来ること、出来ないことについて情報交換を行い、最期までよりよい日常が過ごせるように協力していく体制に整えています。		
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	転居先の担当者に生活の様子を中心とした引継ぎを行い、移動後も随時問い合わせに対応できるようにしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者様の尊厳を守るような言動で接するようにしています。個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法に基づいての取り扱いを行っております。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>ご本人が理解し、決定できるようなコミュニケーション手法により説明を行い、自己決定を尊重するようにしています。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者様一人ひとりの生活習慣に応じて援助をスケジュール化してはいますが、その日の様子、希望によって臨機応変に対応するようにしています。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>入居者様の好みに合わせ、着替えや化粧などの援助を行っております。理美容院についても、ご本人の望まれる店に行けるよう、ご家族にも協力いただいております。訪問美容を利用されている入居者様も多くいます。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>保健衛生上、通常の食事は配食会社への委託を行っておりますが、イベントとして月に数回、食材の調達から調理までを行うようにしております。また、準備・片付けについては、入居者様に協力して頂きながら行っています。嚥下状態の低下している方でも食の楽しみを維持続けていただきたく、ソフト食の検討を行っております。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>お酒については特に制限しておりません。たばこについては施設管理上、喫煙場所の限定をさせて頂いておりますが、喫煙自体は制限しておりません。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>入居者様一人ひとりの排泄パターンを把握し、出来るだけ自然な形で排泄が出来るように努めております。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入居者一人ひとりの希望の時間に入浴できるように配慮しています。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>安眠できるように温かい飲み物の提供をしたり、排泄介助の時間の調節などの工夫をしています。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴を基本に、出来るだけ役割を持って頂けるように配慮しております。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の理解を頂き、個人でお金を所持しておられる方もいます。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>時間に限りはありますが、希望に応じて散歩や買い物などにお連れしています。希望を言われない方については定期的にお誘いしています。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>希望を伺い、季節に応じて外出や日帰り旅行を計画しています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の使用に制限はなく、手紙を書かれたり投函などの支援も行っています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間の設定は特になく、24時間可能です。ゆっくりくつろいで頂けるように配慮しています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	県のフォーラムに参加し、また、身体拘束の弊害を研修等にて伝えております。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1階玄関および2階ユニット玄関は8時から18時までには開錠しています。ユニットが3階にあるため、安全の確保も必要ですが、利用者様・家族様が自由に出入り出来るようにしています。また、やむを得ず施錠する際はその期間を限定し、それ以外は開錠しております。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜通して、所在確認を適宜行っています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者一人ひとりの状況に応じ、対応しております。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危機管理についての研修等で知識を得るようにしています。一人ひとりの状況に応じて必要な対策を立て、実践をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時に備え研修を行ってはいますが定期的に継続しては行えていません。地域で開催される救急救命講習会などへの参加をするように心がけています。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	夜間災害発生を想定した避難訓練を年2回行っています。地域への協力の働きかけは、運営推進会議などの際に町内会を通して行っています。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりの状況に合わせリスクの予測を行い、ケアプラン等を通じて家族に説明、理解をいただいています。安全を優先し行動を抑制したりすることのないようにしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	施設看護師を中心とし、日々健康管理、異常の早期発見に努めています。異常がある場合には関係機関と連絡をとり受診などの対応をしています。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	その方が飲んでいる薬の情報について薬情をよく読む、薬剤師から説明を受けるなどして理解に努めています。また薬の変更時などは状態の観察を継続して行っています。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便コントロールについては薬剤だけに頼るのではなく、運動励行・水分摂取・食物繊維の摂取など生活面から個々に合った支援ができることにも取り組んでいます。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	誤嚥性肺炎の予防のためにも一人ひとりの状況に応じて、口腔ケアを行っています。また、必要な方には定期的に歯科衛生士によるケアも行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に応じ食事形態の工夫を行い、摂取できるように取り組んでいます。また、摂取量を記録し、職員全員での情報の共有に取り組んでおります。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に対する研修にて誤解を招かないように注意しています。また、感染症に関する会議を行い、職員同士が意識を統一して、対策を講じるようにしています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材については毎日、配食会社からの搬入になります。調理器具の衛生管理については細菌検査を行ったり、専門家を交えた管理状況のチェックを定期的に行い安全を確保するようにしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工 土 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに生け花を置くなどの雰囲気作りを行っております。また、建物周囲の植え込みにも花を植え、親しみやすい雰囲気を演出できるように、取り組んでいます。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な音や光については入居者にその都度聞きながら対応しています。季節感を感じれるような装飾を施し、心地よく過ごしていただけるように工夫しています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づ くり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテーブルの配置を工夫し、ひとりでゆっくり過ごせるスペースもあります。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全ての方が使い慣れたものを持参されているわけではありませんが、ご家族とお話をし、写真やなじみの物を持ってきていただけるよう取り組んでおります。また、本人がすごしやすいように家具の配置を工夫したり、好みに合わせた家具を使用いただいています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	乾湿計を設置し、最低2回/日はチェックを行い、その都度温度調節を行っております。また研修・評価等で指摘・改善を行っております。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な場所には手すりを設置していますが、共有スペースは広い空間となっている箇所が多く安全とはいいいがたい面もあります。一人一人の生活動線の把握に努め、身体機能を活かしていただけるよう、考慮しています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの状況に合わせ、自立支援に向けて対応しています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダにてプランター等に花を植え水やりをしていただいています。また、外周りに花の苗を一緒に植えたり、中庭にも花を植え、散歩をしながら見ていただけるようベンチを設置し、休憩場所も確保しております。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「アミーユ」では介護が必要となる以前の“普通の生活”を取り戻していただく生活の場所と考えております。

そして旅行や趣味を通して、以前の楽しかった生活を取り戻していただけるよう援助を行っております。

また、言葉で要望を伝える事が困難な方でも、以前の生活を参考にし、要望を捉えるよう努めております。

運営推進会議などを通して、地域の方に施設を開示したり、またボランティアの方を受け入れ交流を図っております。

日々の暮らしの中で特に取り組んでいることは、嚥下困難な方への食事の提供方法です。介護を必要とし行動範囲も縮小されている方は食事が最大の楽しみの一つであると考え、「ソフト食」に取り組み、定期的に研究会を開催しています。